あすなろ

熊谷女子高校
図書委員会
第698号
2023年5月31日
発行

Love the life you live.
Live the life you love.
自分の生きる人生を愛せ。
自分の愛する人生を生きよ。

《季節の言葉》〜二十四節気〜

二十四節気とは、太陰暦の季節からのずれとは無関係に、四季・気候などの視点で地球上の一年を仕分ける方法です。今でも立春、夏至など、季節を表す言葉として用いられています。

寒暖差の激しい今日この頃ですが、季節の移り変わりを意識してみるのもおもしろいかもしれません。

〈芒種〉

二十四節気の一つで六月六日ごろにあたります。イネやムギなどの芒（のぎ）のある作物の種をまく時節ということからこの名がつけられたそうです。日本人の田植えとの関係の深さが感じられますね。

この時期の旬の食べ物としては、トマトや鮎などが挙げられます。

〈夏至〉

六月二十一日ごろにあたります。一年で一番日が長い日としてご存知の方も多いのではないでしょうか。夏至には「日長きに至る」という意味があるそうです。

夏至に食べるものは地域ごとに異なり、関西では夕コ、福井では焼き鯖などが食べられているそうです。

季節の変わり目である六月、体調に気をつけて頑張りましょう!

師曰く

「MOTTAINAI?」

「豊かな人生」とはどのような人生であろうか。

「効率化」「役に立つ」「生産性」などのキーワードがここ数年さらに社会を覆っているように感じる。確かにこれは賢く生きていくうえでは必要なことであるだろうし、物質的に豊かな社会を作るためには必要な考え方なのかもしれない。しかし、それだけを極めた先に真に豊かな人生は送れるのだろうか。さしあたり、精神的な豊かさは、「非効率」・「役に立たない」・「非生産性」に存在するのではないだろうか。

自分の人生を鑑みると、一見無駄に思えたことが貴重な財産、ひいては心のささえになっている。放課後帰ってすぐ集まって遊んだ公園での出来事、中高大での部活動そしてその帰路、社会人になって飲み交わす会合、数えたらキリがないが、役に立つとか効率だとかを意識していない領域で、私は豊かさを感じており、それが今の人生を豊かにしていると言い切れる。無駄だと判断して通らなかった脇道から新たなものを得られるかもしれないし、豊かさを感じられるかもしれない。早計に無駄だと切り捨てるのはもったいない。この長い人生、無駄なことを無駄なく楽しんでいきたい。

☆このコーナーは熊女の先生から生徒たちへのメッセージです。

☆図書館開館日のお知らせ

○…開館日, △…時間変更

日	月	火	水	木	金	土
				5月 ㉕	㉖	△27 〜16:30まで
28	㉙	㉚	㉛	6月 ①	②	3
④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	△10 〜16:30まで

○開館時間
8:30
〜
17:30

ぜひご利用してください!

☆熊女へのオススメの本

『時限病棟』
著者　知念実希人

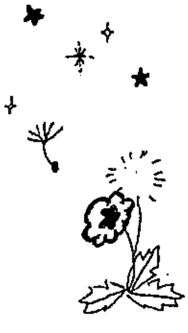
ある病院に監禁された男女5人が拉致された謎とは……!
タイムリミットは6時間!!
1つの選択が大きな事件を引き起こしてしまう恐怖を感じる作品です。
ぜひスリルをこのサスペンス小説で味わってみませんか?

星とたんぽぽ

金子みすゞ

青いお空のそこふかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまでしずんでる、
昼のお星はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。

ちってすがれたたんぽぽの、
かわらのすきに、だァまって、
春のくるまでかくれてる、
つよいその根はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。



玉かづら班